

チャペル週報

No. 13

2014. 6.30 ~ 7.4

イエスは言われた。

「わたしの軛を負い、わたしに学びなさい。

そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。」

(マタイによる福音書11章29節)



西宮上ヶ原キャンパス ランバス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

6月30日(月) 神 神学部教員による連続チャペル「伝道者教育の現在」 Jeffrey Mensendiek (神学部准教授)
経 舟木 謙 (宗教主事)
人 川島 恵美 (人間福祉学部准教授)
聖和 聖書物語 預言者エリア
理 北村 泰彦 (理工学部教授)

7月1日(火) 神 島田 尚美 (神学研究科M1)
文 音楽チャペル ハンドベルクワイア
社 バンドで歌うチャペル・コンサート
法 音楽賛美シリーズ2 バロックアンサンブル
経 小川 晃司 (宗教活動委員会委員長)
商 嵯峨根 克人 (法人部次長)
国 宮田 由紀夫 (国際学部教授)
聖和 ピアノとお話 中村 千晶 (教育学部准教授)
総 塘田 捷人 (総合政策学部1年)

7月2日(水) 神 神学部教員による連続チャペル「伝道者教育の現在」加納 和寛 (神学部助教)
社 「自由」をめぐる⑤ 渡邊 勉 (社会学部教授)
法 柴田 信也 (日本基督教団兵庫教区 被災者生活支援 長田センター)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
商 山本 俊正 (宗教主事)
人 音楽チャペル ハンドベルクワイア
国 聖歌隊
聖和 SCCV (Seiwa Campus Community Volunteers)
理 古澤 啓太 (神戸東部教会牧師)
総 村瀬 義史 (宗教主事)

7月3日(木) 神 <キリスト教音楽に触れよう②> 水野 隆一 (神学部教授)
文 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)
社 「自由」をめぐる⑥ 内田 充実 (社会学部教授)
法 栗林 輝夫 (宗教主事)
経 永田 雄次郎 (文学部教授)
商 小川 晃司 (保健館事務長)
国 English Chapel Kind Kanto (Dean, Chuuk Campus, College of Micronesia)
聖和 わたしがあなたがたを選んだ 前川 裕 (理工学部宗教主事)
総 Bridge for Children

7月4日(金) 院 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)
神 聖歌隊による音楽礼拝
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 春のオルガンコンサート 太宰 まり (関西学院オルガニスト)
人 嶺 重 淑 (宗教主事)
聖和 W-A-T-E-R 山本 伸也 (教育学部教授)
理 北原 和明 (理工学部教授)

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)
7月4日(金) 初等部のために 福万 広信 (初等部宗教主事)

映画に学んだヨーロッパ統合について

Holger Bungsche

先日、出張の飛行機の中で「リスボンへの夜行列車」という映画を観ました。この映画は多くのヨーロッパ人が忘れかけているヨーロッパの歴史を紹介しながら、ヨーロッパの統合により国境は完全になくなり、ヨーロッパの市民にたくさんの自由や安全性と平和がもたらされたかという事を感動的に見せています。

映画の内容を簡単にまとめると；50代のスイスの古典ラテン語、ギリシャ語の高校教師は朝の通勤時に、あるポルトガル人の女性に出会い、その女性から偶然に一冊の本を手に入れました。その本を返すためにその女性を探しながら、本を読み始めた教師は、書いていた内容に感動し、この本を書いた著者に会いたくなりました。その時、本の中に偶然に挟まれていたリスボン行きの切符を見つけ、その切符で列車に乗りリスボンへと出発します。リスボンに着き、著者はすでに亡くなっていた事がわかり、教師は著者のお姉さんをはじめ、彼の昔の学校の先生、友人などを辿り話を聞き、著者の生活と1960/70年代の当時のポルトガル政治状態について詳しく知るようになりました。当時のポルトガルはスペインやギリシャなどと同様に、人権を尊重しない専制国家でありました。著者はその当時、医者として働いていて、軍事政権の反対派で活躍していました。

「リスボンへの夜行列車」はヨーロッパの統合についての映画ではありませんが、それにも関わらず映画で見せられたポルトガルの1960/70年代の様子と、スイスの教員が旅行している今のヨーロッパとポルトガルの様子とを比較すると、ヨーロッパ統合の良さがよくわかります。スペインとポルトガルの間で厳しいパスポートの検査が行われていた1960/70年代とは違って、突然電車に乗り、リスボンへと出発している高校の先生はパスポートさえも持っていません。現在、国境での検査をなくしたシェンゲン協定の加盟国であるフランス、スペイン、ポルトガルとスイスにはパスポートなしで国境を越えられます。そう考えると1960年代の当時のポルトガル、スペインとギリシャとは違い、今のヨーロッパでは人権が守られ、自由と平和な地域になったことはヨーロッパ統合の最も大きな成功だと思います。

今回の欧州議会選挙で、EUに反対する超国家主義政党に投票した人々は多分、「リスボンへの夜行列車」の映画を見ていないと思います。そこで“Become a World Citizen”と言うモットーがある関学の国際学部の学生だけではなく、関学の全ての学生にもこの映画を是非見て頂きたいのです。

(国際学部教授・EUIJ 関西副代表)

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを実施します。(18:00~18:20 1405教室)

主題:「夏休みを前にして」

- 7月3日(木)田淵 結(宗教総主事)
- 7月10日(木)山本俊正(商学部宗教主事)
- 7月17日(木)舟木 讓(大学宗教主事)

●関西学院会館の日曜礼拝

授業期間中の第二・第四日曜日に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。一部英語を用いるバイリンガル形式です。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

7月13日・27日(日) 10:00~11:00

関西学院会館ベーツチャペル

●ランパスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。今後の予定は以下のとおりです。

10月21日(火) 10:35~11:05

11月18日(火) 10:35~11:05

いずれもランパス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

●夕べの祈りatランパス~テゼの音楽とともに~

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひとときです。どなたでもご参加ください。

第3回 7月3日(木) 18:30~20:00

ところ:ランパス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催:夕べの祈り準備会(学生有志)

協 力:関西学院宗教活動委員会

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室内の宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室ははじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。